

学校法人日本体育大学

日本体育大学社会貢献推進機構 自己点検・評価報告書

(平成 30 年)

平成 31 年 1 月 24 日

(内容 平成 30 年 1 月～12 月)

日本体育大学社会貢献推進機構
スポーツプロモーション・オフィス

日本体育大学の概要

設置者	学校法人日本体育大学		
理事長	松浪 健四郎		
学長	具志堅 幸司		
体育学部長	水野 増彦		
スポーツ文化学部長	八木沢 誠		
スポーツマネジメント学部長	石井 隆憲		
児童スポーツ教育学部長	久保 健		
保健医療学部長	平沼 憲治		
開設年月	昭和 24 年 4 月		
所在地	東京・世田谷キャンパス	東京都世田谷区深沢 7-1-1	
	横浜・健志台キャンパス	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1221-1	

設置学部・学科及びコース並びに入学定員（平成 30 年 5 月 1 日現在）

学部	学科・コース	入学定員	収容定員
体育学部 (平成 28 年度定員変更)	体育学科	750	3000
	健康学科	195	780
	武道学科 (H29～募集停止)	120	480(240)
	社会体育学科 (H30～募集停止)	195	780(585)
	合計	1260(945)	5040(4605)
スポーツ文化学部 (平成 29 年 4 月開設)	武道教育学科	100	400(200)
	スポーツ国際学科	100	400(200)
	合計	200	800(400)
スポーツマネジメント学部 (平成 30 年 4 月開設)	スポーツマネジメント学科	145	580(145)
	スポーツライフマネジメント学科	110	440(110)
	合計	255	1020(255)
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育学科		
	児童スポーツ教育コース	150	600
	幼児教育保育コース	50	200
	合計	200	800
保健医療学部	整復医療学科	90	360
	救急医療学科	80	320
	合計	170	680
総合計		2085(1770)	8340(6740)

評価指標

基準	テーマ	評価の観点	
生涯スポーツ社会の構築 健康で豊かな	1 学内組織の整備と事業方針及び事業計画の明確化	①	地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備
		②	建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の醸成に向けた取り組みの推進
	2 地域との連携体制の構築及び地域志向の教育課程編成	①	貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築
		②	地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成
	3 地域の課題解決に向けた効果的なプログラムの実施と貢献活動の推進	①	地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発
		②	人的・物的資源を活かした公開講座等の実施
		③	ボランティア活動の推進と人材育成への取り組みの充実
		④	地域の美化、防災力の向上を図る取り組みの推進

【ポイント】

1-① 地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備

学則・組織規程等に社会貢献を主たる任務とした組織が明確に規定されているか。また、実施体制としての組織が整備されているか。

1-② 建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の確立

建学の精神、ミッション・ビジョンを踏まえた方針であるか。また、その方針を踏まえた計画が立案されているか。加えて、それらを学生・教職員に周知徹底するための方策が施されているか。

2-① 貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築

キャンパスが立地する地域の自治体等との連携関係を構築できているか。また、大学と地域が連携して事業を推進する仕組みが備わっているか。

2-② 地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成

キャンパスが立地する地域の体育・スポーツに関する課題等を学生が学習するとともに、その課題解決に資する取り組みを推進することの意義を理解させる教科目が設定されているか。また、その学習を通じた学生の理解度及び貢献活動に対する意識の向上が図れているか。さらに、それらを検証、改善する仕組みが整っているか。

3-① 地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発

東京都世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市が抱える体育・スポーツに関する課題の抽出に努めるとともに、課題解決に資する研究活動を促進して健康の維持増進、スポーツ文化の向上、生涯スポーツの進展等を意図したプログラムを検討、具体性のある企画を立案して実行しているか。

3-② 人的・物的資源を活かした公開講座等の実施

大学が有する人材等の資源を活用して、地域課題解決に資する公開講座等を開講しているか。

3-③ ボランティア活動の推進と人材育成への取り組みの充実

地域社会からのボランティア要請等に積極的に対応するとともに、それらの活動と教育課程の連動を図った人材育成に繋げているか。

3-④ 地域の美化、防災力の向上を図る取り組みの推進

地域社会と連携し、地域の美化に努めるとともに、地域住民を巻き込んだ防災力の向上に努めているか。

○ 自己点検・評価

□ 評価基準

健康で豊かな生涯スポーツ社会の構築

〈テーマ1 学内組織の整備と事業方針及び事業計画の明確化〉

評価の観点

- (1) 地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備
- (2) 建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の醸成に向けた取り組みの推進

(評価のポイント)

- 1-(1) 組織規程等に社会貢献を主たる任務とした組織が明確に規定されているか。また、実施体制としての組織が整備されているか。
- 1-(2) 建学の精神、ミッション・ビジョンを踏まえた方針であるか。また、その方針を踏まえた計画が立案されているか。加えて、それらを学生・教職員に周知徹底するための施策が施されているか。

【事実の説明】

- (1) 日本体育大学社会貢献推進機構は、学校法人日本体育大学組織規程第13条に基づき、平成26年4月1日に設置し、機構の構成については、日本体育大学社会貢献推進機構規程第5条で機構長(学長)、副機構長(企画・管理・運営担当副学長)及び各学部長並びに連携推進・教育開発・研究開発の各担当と、スポーツプロモーション・オフィスとなっている。全学での社会貢献活動を標榜していることから、平成30年4月1日付で組織構成に関する改正を行い、各大学院研究科長、附置機関長及び事務局長も組織構成に加えた。ただし、各大学院研究科長及び附置機関長は、運営戦略会議の構成員としては、審議案件等によって、機構長が必要と判断する場合に招集されることとなっている。

運営戦略会議及び地域社会連携本部会議において方針等を決定するにあたり、基本的な考え方や具体案を検討するために、「地域教育活動委員会」、「地域研究活動委員会」、「地域社会貢献活動委員会」の三つの分野別委員会を設置して運営している。

[エビデンス集・資料集=1-(1)-1、1-(1)-2、1-(1)-3、1-(1)-4、1-(1)-5、1-(1)-6、1-(1)-7]

- (2) 建学の精神を踏まえ、平成30年4月23日開催の地域社会連携本部会議において、平成30年度の事業方針を「地域(東京都世田谷区、青葉区を中心とした横浜市)の課題及びニーズの抽出を情報収集や研究活動を通じて積極的に行い、これらの課題の改善・解消、あるいはニーズに応え得る各種の取り組みの開発に努め、全学的に対応する。また、本学独自の資格制度(CSC=Community Sport Coordinator)を2019(平成31)年度からスタートさせるように進め、この制度を柱とした質の高い人材育成に関して、実効性の高い運用を行って実現することとしている。地域・社会貢献活動の活性化を継続的に推進するため、引き続き、全学的な周知徹底はもちろんのこと、対社会に向けた情報発信に努める。将来的には、本学が有する校友会(同窓生、保護者等)組織と連携し、事業を全国的に展

開するとともに、卒業生が活躍できる場の創出につなげることを目指す。」と定め、これに沿った事業計画を決定した。事業方針・事業計画は、機関誌「T-Lion Voice Home 第7号」にも掲載し、地域への配布はもちろん、学内の教職員へ配布し、周知を図っている。また、事務連絡協議会の際に各種の取組と合わせて周知をしている。学生については、6月5・6・8・9日に実施された教職支援センター主催の教員免許取得希望者ガイダンスにおいて、教育ボランティアを中心とした社会貢献に関する取り組みの解説等を行い、人材バンクへの参画を促した。大学全体としては、NICS@Web お知らせを利用した案内を行い、周知を図っている。

[エビデンス集・資料集＝1-(2)-1、1-(2)-2、1-(2)-3]

表1 日本体育大学社会貢献推進機構構成員(平成30年度)

担当	氏名	役職等	備考
機構長	具志堅 幸司	学長	
副機構長	松井 幸嗣	副学長(企画・管理・運営担当)	
大学院研究科長	阿江 通良	体育科学研究科長	
大学院研究科長	角屋 重樹	教育学研究科長	
大学院研究科長	(平沼 憲治)	保健医療学研究科長	
学部長	水野 増彦	体育学部長	
学部長	八木沢 誠	スポーツ文化学部長	
学部長	石井 隆憲	スポーツマネジメント学部長	
学部長	久保 健	児童スポーツ教育学部長	
学部長	平沼 憲治	保健医療学部長	
附置機関長	根本 研	寮監長	
附置機関長	三好 仁司	図書館長	
附置機関長	後藤 彰	教職支援センター	
附置機関長	荒木 達雄	国際交流センター	
附置機関長	(小林 正利)	アドミッションセンター長	
附置機関長	山本 博	アスレティックデパートメント長	
附置機関長	(平沼 憲治)	健康管理センター長	
連携推進担当	小林 正利	教授会構成員	
教育開発担当	三宅 良輔	学生支援センター長	
研究開発担当	野井 真吾	総合スポーツ科学研究センター長	
ペースマネージャー(世田谷)	波多腰 克晃	教授会構成員	
ペースマネージャー(健志台)	津山 薫	教授会構成員	
大学事務局長	大高 秀二	事務局次長	
スポーツプロモーション・オフィス	白旗 和也	オフィスディレクター	
〃	石井 砂織	アシスタントオフィスディレクター	
〃	増岡 啓彰	アシスタントオフィスディレクター	学生支援センター健志台事務室 事務長
〃	塚田 直彦	主任	
〃	岡田 順治		学生支援センター健志台事務室
〃	長坂 実早紀		

表2 運営戦略会議構成員(平成30年度)

役職等	氏名	備考
機構長	具志堅 幸司	学長
副機構長	松井 幸嗣	副学長(企画・管理・運営)
副学長(教学・学生生活)	笠井 里津子	
学部長	水野 増彦	体育学部
	八木沢 誠	スポーツ文化学部
	石井 隆憲	スポーツマネジメント学部
	久保 健	児童スポーツ教育学部
	平沼 憲治	保健医療学部
連携推進担当	小林 正利	
教育開発担当	三宅 良輔	学生支援センター長
研究開発担当	野井 真吾	総合スポーツ科学研究センター長
ベースマネージャー	波多腰 克晃	東京・世田谷キャンパス
	津山 薫	横浜・健志台キャンパス
教務委員会委員長	(笠井 里津子)	
教養教育委員会委員長	林 忠男	
大学事務局長	(大高 秀二)	事務局次長が代理
オフィスディレクター	白旗 和也	
その他機構長が必要と認めた者	後藤 彰	教職支援センター長
	荻 浩三	IRE 室長
	大高 秀二	健志台統括

表3 分野別委員会構成員(平成30年度)

表3-1 地域教育活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
※ 後藤 彰	スポーツ文化	教職教育	
横山 順一	体育	社会福祉学	
波多腰 克晃	スポーツ文化	スポーツ哲学	ベースマネージャー(世田谷)
荻 浩三	体育	スポーツ史	
安達 瑞保	児童スポーツ教育	栄養教育学	
齋藤 雅英	スポーツ文化	教育心理学	
樋口 毅史	保健医療	スポーツコンディショニング	
鈴木 健介	保健医療	医療英語	
岡本 美和子	児童スポーツ教育	母子保健	
近藤 智靖	児童スポーツ教育	スポーツ教育学	
恵 元			IR 室長補佐
塚田 直彦			スポーツプロモーション・オフィス 主任

表3-2 地域研究活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
依田 充代	スポーツマネジメント	スポーツ社会学	
野村 一路	スポーツマネジメント	生涯スポーツ学	
※ 野井 真吾	体育	学校保健学	研究開発担当
伊藤 雅充	体育	コーチ学	
須永 美歌子	児童スポーツ教育	運動生理学	
関根 正美	体育	スポーツ哲学	
田中 信行	体育	アダプテッドスポーツ学	
中里 浩一	保健医療	運動生理学	
岡出 美則	スポーツ文化	スポーツ教育学	
新里 知佳野	スポーツ文化	剣道	
石井 隆憲	スポーツマネジメント	スポーツ社会人類学	
中嶋 基仁			総合スポーツ科学研究センター事務長
塚田 直彦			スポーツプロモーション・オフィス 主任

表3-3 地域社会貢献活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
佐野 昌行	スポーツマネジメント	スポーツマネジメント	
大石 健二	体育	測定評価学	
根本 研	体育	ハレーホール	
三宅 良輔	保健医療	体操	教育開発担当
津山 薫	体育	発育発達学	ベースマネージャー(健志台)
亀山 有希	児童スポーツ教育	スポーツ社会学	
石井 隆士	スポーツマネジメント	陸上競技	
伊藤由美子	体育	体操	
成田 和穂	保健医療	スポーツ医学(内科系)	
津田 博子	スポーツ文化	ダンス・伝統芸能	
※ 白旗 和也	体育	教職教育	スポーツプロモーション・オフィス オフィスディレクター
小林 正利	体育	健康教育学	連携推進担当
南部 さおり	スポーツ文化	スポーツ危機管理学	
長坂実早紀			スポーツプロモーション・オフィス スタッフ

【エビデンス集・資料編】

1. 1-(1)-1 学校法人日本体育大学組織規程(抄)
2. 1-(1)-2 日本体育大学社会貢献推進機構規程(平成30年4月1日施行)
3. 1-(1)-3 運営戦略会議議事要旨
4. 1-(1)-4 地域社会連携本部会議議事要旨
5. 1-(1)-5 地域教育活動委員会議事要旨
6. 1-(1)-6 地域研究活動委員会議事要旨
7. 1-(1)-7 地域社会貢献活動委員会議事要旨
8. 1-(2)-1 平成30年度事業方針及び事業計画
9. 1-(2)-2 広報誌「T-Lion Voice Home」第7号
10. 1-(2)-3 ライフガイダンスマップ及びスタートブック2018

【自己評価】

テーマ1は概ね満たしている。しかし、5年間の実績や評価を踏まえ、より実効性の高い組織に再構築していくことも課題である。

【改善・向上方策】

日本体育大学社会貢献推進機構規程の改正を行い、各学部を網羅し、大学院研究科や多様な附置機関、事務局等を組み入れ、全学で取組む体制を整えた。組織が大きくなることによって、幅広い分野、観点から社会貢献事業を展開していくことが期待できる。

一方、5年目を迎え、これまでの各委員会・会議体の役割、関連性、実施までの行程において問題点等を抽出し、統合等再編成も含め見直しを行い、現状に見合った組織に再構築し、計画から実行に至るまでスピード感をもって行えるような工夫が必要である。

对学生については、印刷物（「ライフガイダンスマップ 2018」、「スタートブック 2018」）配布や、教員希望者向けスタートガイダンスにおける社会貢献活動に関する解説（参加者 303 名）を行い、周知へ向けての工夫は見られるが、いずれも1年生を対象としたものであるため、他の学年や教員希望以外の学生に対しても、社会貢献活動を紹介する機会をさらに積極的に設ける等、学生の人材バンクへの登録数増加を図る取り組みを充実させていく。

〈テーマ2 地域との連携体制の構築及び地域志向の教育課程編成〉

評価の観点

- (1) 貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築
- (2) 地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成

(評価のポイント)

- 2- (1) キャンパスが立地する地域の自治体等との連携関係を構築できているか。また、大学と地域が連携して事業を推進する仕組みが備わっているか。
- 2- (2) キャンパスが立地する地域の体育・スポーツに関する課題等を学生が学習するとともに、その課題解決に資する取り組みを推進することの意義を理解させる教科目が設定されているか。また、その学習を通じた学生の理解度及び貢献活動に対する意識の向上が図れているか。さらに、それらを検証、改善する仕組みが整っているか。

【事実の説明】

- (1) 東京都世田谷区(スポーツ推進担当部所管)、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団(事務局所管)、横浜市市民局(スポーツ振興部所管)、公益財団法人横浜市体育協会(地域スポーツ振興部所管)、横浜市青葉区(総務部区政推進課所管)と連携協定を締結し、各団体から地域社会連携本部会議の構成員が配置され、年2回会議を開催して事業方針・計画の検討・策定等を行っている。

また、世田谷区の大学連携に関する調整連絡会、神奈川県と大学との連携推進会議、横浜市大学・都市パートナーシップ協議会、青葉大学連携学長会議等に参加し、情報共有及び協力・連携体制を整えている。

2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、大学の組織としてオリンピック・パラリンピック事業推進室が設置されたので、地域からのオリンピック・パラリンピックに関わる依頼対応や各種取り組みについて、協力体制をとって推進していくこととしている。

[エビデンス集・資料集=2-(1)-1、2-(1)-2]

- (2) 地域志向の授業科目については、全学部「日体大の歴史」を共通で配置しており、その中で、日体大と地域社会(世田谷区・横浜市)の関わりについても学ぶこととなっている。

スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部では、日体大と地域社会を学ぶ他、地域における体育・スポーツに関する課題の発掘と対応について学び、地域スポーツ活動の中核を担う人材の育成も目的とした「地域社会とスポーツ」、また、「地域ボランティア実習(事前・事後指導を含む)」、「地域スポーツ演習」を設定しており、今年度、スポーツ文化学部2年次の「地域ボランティア実習(事前事後指導を含む)」には31名が履修をしている。

児童スポーツ教育学部では、「地域社会とスポーツ」の他、「スポーツ現場実務論」、「スポーツ現場実習」を配置した2019カリキュラムがスタートすることが決定しており、CSC(Community Sport Coordinator)資格制度に対応可能となっている。

これら学びについての学生の理解度や貢献活動への意識の検証には、各学期末の授業評価アンケートなども方法の一つとして利用していく。

体育学部については、次期カリキュラム編成時に、プロジェクト委員会でも科目の検討を行う予定である。

保健医療学部については、AT(アスレティックトレーナー)資格をカリキュラム内で取得可能とする予定で、CSC資格制度については、当分の間、見送ることとなっている。

[エビデンス集・資料集=2-(2)-1]

表4 地域社会連携本部構成員(平成30年度) (敬称略)

役職等	氏名	備考
世田谷区スポーツ推進部スポーツ推進課長	須藤 剛志	
横浜市市民局スポーツ振興部スポーツ振興課長	守屋 喜代司	
公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団事務局管理課長	小野 道子	
公益財団法人横浜市体育協会地域スポーツ振興部長	森田 尚隆	
横浜市青葉区総務部政推進課長	鈴木 康介	
日本体育大学社会貢献推進機構連携推進担当	小林 正利	
日本体育大学社会貢献推進機構教育開発担当	三宅 良輔	学生支援センター長
日本体育大学社会貢献推進機構研究開発担当	野井 真吾	総合スポーツ科学研究センター長
スポーツプロモーション・オフィスオフィステイラー	白旗 和也	

表5 CSC 資格制度創設に係る検討プロジェクト

氏名	資格	所属等	備考
後藤 彰	教授	スポーツ文化学部(地域教育活動委員会)	プロジェクトリーダー、
鈴川 一宏	教授	体育学部(教務委員会)	
依田 充代	教授	スポーツマネジメント学部(教務委員会、地域研究活動委員会)	
金本 良通	教授	児童スポーツ教育学部(教務委員会)	
岡本美和子	教授	児童スポーツ教育学部(教務委員会、地域教育活動委員会)	
荻 浩三	教授	体育学部(地域教育活動委員会)	
伊藤 雅充	教授	体育学部(地域研究活動委員会)	
林 忠男	教授	体育学部(教務委員会)	
波多腰克晃	准教授	スポーツ文化学部(地域教育活動委員会)	
近藤 智靖	教授	児童スポーツ教育学部(地域教育活動委員会)	
田中 信行	教授	体育学部(地域研究活動委員会)	
佐野 昌行	准教授	スポーツマネジメント学部(地域社会貢献活動委員会)	
白旗 和也	教授	体育学部(地域社会貢献活動委員会)	SPOオフィステイラー
三宅 良輔	教授	保健医療学部(教務委員会、地域社会貢献活動委員会)	
菊名 博之	主事1級	学生支援センター学習支援部門(教務委員会)	
佐藤 友美	主事1級	教育課程課(教務委員会)	
恵 元	主事1級	IRE室(地域教育活動委員会)	
塚田 直彦	主事補	スポーツプロモーション・オフィス	
小林 慶	主事補	学生支援センター学習支援部門	
長坂実早紀	主事補	スポーツプロモーション・オフィス	

【エビデンス集・資料編】

1. 2-(1)-1 地域社会連携本部規則
2. 2-(1)-2 協定書
3. 2-(2)-1 教授会決定内容(平成29年7月19日)

【自己評価】

テーマ2について、地域との連携体制は構築されてきているが、地域志向の授業科目設定や新資格制度については、今後継続的に検討が必要である。

【改善・向上方策】

地域との連携については、協議会等への参加はもちろんのこと、各種イベントにおいても自治体・大学が協力して実施するなど、地域社会との連携体制が構築され、効果的な企画の展開に結びつけている。

地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成については、科目設定をしている学部を中心に資格取得までの詳細な流れを確定し、周知徹底するとともに、学生の意識向上を図っていく。

今後、実施していく中で、課題については適宜改善していく。体育学部については、教務委員会のカリキュラム改訂と連携していくことが必要である。

〈テーマ3 地域の課題解決に向けた効果的なプログラムの実施と貢献活動の推進〉

評価の観点

- (1) 地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発
- (2) 人的・物的資源を活かした公開講座等の実施
- (3) ボランティア活動の推進と人材育成への取り組みの充実
- (4) 地域の美化、防災力の向上を図る取り組みの推進

(評価のポイント)

- 3-(1) 東京都世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市が抱える体育・スポーツに関する課題の抽出に努めるとともに、課題解決に資する研究活動を促進して健康の維持増進、競技力の向上、スポーツ文化の向上、生涯スポーツの進展等を意図したプログラムを検討、具体性のある企画を立案して実行しているか。
- 3-(2) 大学が有する人材等の資源を活用して、地域課題解決に資する公開講座等を開講しているか。
- 3-(3) 地域社会からのボランティア要請等に積極的に対応するとともに、それらの活動を教育課程との連動を図った人材育成に繋げているか。
- 3-(4) 地域社会と連携し、地域の美化に努めるとともに、地域住民を巻き込んだ防災力の向上に努めているか。

【事実の説明】

- (1) 研究活動に関しては、東京都世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市を主たる対象地域として、地域の体育・スポーツに関する課題やニーズの抽出、あるいはスポーツ文化の向上等に資するため、次のテーマについて研究を継続しているが、今年は特にこのうち①、③、④についての調査・研究を実施している。

なお、今年度の研究としては取り扱っていないが、前年度のサッカー・ワールドカップアジア最終予選に続き、6月にサッカー・ワールドカップのパブリックビューイングを実施し、スポーツ観戦の様態について継続分析するとともに、地域住民のスポーツへの関心の向上に繋がった。

- ① 地域住民の体力向上・健康増進
- ② 地域住民のスポーツへの関心の向上
- ③ 地域障害者スポーツ機会の向上と指導者支援
- ④ 地域スポーツ指導者の意識・技術向上
- ⑤ 学校体育の充実

[エビデンス集・資料集=1-(1)-6,3-(1)-2]

- (2) 公開講座を2件、スポーツ教室12件、健康運動教室22件、指導講習会を6件、その他6件、表6のとおり実施した。

小学生を対象とした日体大スポーツフェスタは、今年度は東京・世田谷キャンパス(12月9日)、横浜・健志台キャンパス(1月27日)の両キャンパスで実施することとなった。

この他、例年開催している体力測定も、横浜・健志台キャンパス(10月21日・22日)、東京・世田谷キャンパス(11月2日～4日・日体フェスティバル内)の両キャンパスで実施した。なお、日体フェスティバル内の体力測定では、今回子どもの体力測定を試行的に実施し、

270名の参加があった。〔エビデンス集・資料集＝3-(1)-1、3-(2)-1、3-(2)-2〕

(3) ボランティア対応の活性化・迅速化を図るために構築した人材バンクについては、現在(2018年12月23日現在)463名(同時期前年比+44名)の学生が登録を済ませ、1月から表7に記載したボランティア活動への対応を行っている。また、各方面からの要望・依頼に基づき、表8のとおり体育・スポーツ活動への支援、表9のとおり施設開放を実施している。〔エビデンス集・資料集＝3-(1)-1、3-(3)-1、3-(3)-2、3-(3)-3、3-(3)-4、3-(3)-5〕

(4) 美化運動については、東京・世田谷、横浜・健志台の両キャンパス周辺で12回実施しており、キャンパス周辺地域以外でも、海浜実習の実施場所である千葉県岩井海岸においても清掃活動を行った。また、防災訓練については、昨年に引き続き横浜・健志台キャンパスにおいて10月に実施し、210名の参加があった。東京・世田谷では3回の地域合同総合消防訓練に協力した。〔エビデンス集・資料集＝3-(1)-1、3-(3)-1〕

表6 公開講座・スポーツ教室等の実施状況(1月～12月)

No.	実施日	種別	実施内容	参加人数
1	平成30年1月27日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	26名
2	平成30年2月18日(日)	健康運動教室	膝痛さようなら体操教室(健志台)	21名
3	平成30年2月20日(火)	指導講習会	生涯スポーツ振興講座(世田谷)	8名
4	平成30年2月21日(水)	指導講習会	生涯スポーツ振興講座(世田谷)	6名
5	平成30年5月20日(日)	スポーツ教室	めざせ!トップアスリート(健志台)	3名
6	平成30年5月26日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	24名
7	平成30年5月26日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	12名
8	平成30年6月3日(日)	指導講習会	救命蘇生法講習会(世田谷)	24名
9	平成30年6月9日(土)	スポーツ教室	楽しくレスリングをやってみよう(健志台)	27名
10	平成30年6月10日(日)	指導講習会	筋トレのすすめ(世田谷)	30名
11	平成30年6月23日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	6名
12	平成30年6月24日(日)	スポーツ教室	めざせ!トップアスリート(健志台)	3名
13	平成30年6月30日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	24名
14	平成30年6月30日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	17名
15	平成30年7月7日(土)	スポーツ教室	楽しくレスリングをやってみよう(健志台)	28名
16	平成30年7月14日(土)	その他	からだのかたちと立位・歩行動作をはかる(健志台)	35名
17	平成30年7月15日(日)	スポーツ教室	めざせ!トップアスリート(健志台)	7名
18	平成30年7月21日(土)	その他	からだのかたちと立位・歩行動作をはかる(健志台)	32名
19	平成30年7月21日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	36名
20	平成30年7月21日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	20名

21	平成 30 年 7 月 22 日(日)	公開講座	子どものための心理的応急処置(健志台)	96 名
22	平成 30 年 7 月 28 日(土)	公開講座	第 27 回幼児教育講座(世田谷)	51 名
23	平成 30 年 8 月～9 月	指導講習会	日体大筋トレ塾 計 18 回	延べ 460 名
24	平成 30 年 8 月 19 日(日)	スポーツ教室	めざせ! トップアスリート(健志台)	5 名
25	平成 30 年 9 月 9 日(土)	スポーツ教室	楽しくレスリングをやってみよう(健志台)	32 名
26	平成 30 年 9 月 22 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	31 名
27	平成 30 年 9 月 22 日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	24 名
28	平成 30 年 9 月 23 日(日)	スポーツ教室	めざせ! トップアスリート(健志台)	3 名
29	平成 30 年 10 月 6 日(土)	スポーツ教室	楽しくレスリングをやってみよう(健志台)	26 名
30	平成 30 年 10 月 13 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	29 名
31	平成 30 年 10 月 13 日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	19 名
32	平成 30 年 10 月 14 日(日)	その他	災害時の対応講習会 (阪神淡路大震災の教訓とトリアージ)	86 名
33	平成 30 年 10 月 21 日(日)	スポーツ教室	めざせ! トップアスリート(健志台)	22 名
34	平成 30 年 10 月 28 日(日)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(健志台)	6 名
35	平成 30 年 10 月 28 日(日)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(健志台)	9 名
36	平成 30 年 10 月 20 日(土)、21(日)	その他	日本体育大学体力測定(健志台)	318 名
37	平成 30 年 11 月 2 日(金)3 日(土)、4 日(日)	その他	日本体育大学体力測定(世田谷)	832 名
38	平成 30 年 11 月 11 日(日)	健康運動教室	ヤムナ&ピラティス	29 名
39	平成 30 年 11 月 11 日(日)	指導講習会	筋トレのすゝめ	30 名
40	平成 30 年 11 月 17 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	27 名
41	平成 30 年 11 月 17 日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	28 名
42	平成 30 年 12 月 1 日(土)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(世田谷)	25 名
43	平成 30 年 12 月 1 日(土)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(世田谷)	25 名
44	平成 30 年 12 月 9 日(日)	スポーツ教室	日体大スポーツフェスタ 2018(世田谷)	156 名
45	平成 30 年 12 月 9 日(日)	健康運動教室	らくらくエアロビクス運動教室(健志台)	11 名
46	平成 30 年 12 月 9 日(日)	健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～(健志台)	5 名
47	平成 30 年 12 月 23 日(日)	スポーツ教室	めざせ! トップアスリート(健志台)	4 名

表7 人材バンク等により対応したボランティア活動(1月～12月)

No.	実施日	依頼先・実施内容	対応学生等	派遣人数
1	平成30年1月～ 平成30年3月	社会福祉法人泉会 泉の家 ボランティア	人材バンク	1名
2	平成30年1月～ 平成30年3月	神奈川県立田奈高等学校 学習支援ボランティア	人材バンク	1名
3	平成30年1月～ 平成30年3月	東京都教育相談センター 学生アドバイザースタッフ	人材バンク	1名
4	平成30年1月5日	区役所主催の賀始交換会の地域交流	チアリーダー部	16名
5	平成30年1月21日	第21回 赤十字救急法競技会にかかる傷病者 役およびスタッフ協力	小泉ゼミ フィンスイミングクラブ	74名
6	平成30年2月16日 ～2月18日	なすかしの森ファミリーミーティング (第4回)(スキー&スノーボード教室)	人材バンク	1名
7	平成30年4月15日	桜新町商店街「さくらまつり」売店 その他アルバイト	深沢寮生、和泉寮生	20名
8	平成30年5月25日 ～5月26日	横浜市立中川小学校 高尾体験学習	人材バンク	1名
9	平成30年7月29日	等々力の家納涼祭	深沢寮生・和泉寮生	17名
10	平成30年9月1日 ～9月2日	なすかしの森ファミリーミーティング (第2回)(親子対象の自然体験活動)	人材バンク	2名
11	平成30年9月8日	桜新町商店街 「ねぶたまつり」ねぶた引手等	深沢寮生・和泉寮生	20名
12	平成30年9月13日 ～9月14日	横浜市立黒須田小学校 小学5年生 西湖宿泊体験学習	人材バンク	1名
13	平成30年9月30日	政策局大学調整課 ヨコハマ大学まつり2018	保健医療学部学生	34名
14	平成30年10月21日	世田谷区立深沢児童館 第10回こどものまちフェスティバル	深沢寮生・和泉寮生	10名
15	平成30年11月7日 ～11月10日	大田区大森東中学校 第1学年移動教室	人材バンク	4名
16	平成30年12月15日 ～12月16日	野島クリスマスキャンプ実行委員会 第23回 野島クリスマスキャンプ2018	人材バンク	2名
17	平成30年12月15日 ～12月16日	なすかしの森ファミリーミーティング (第3回)(家族みんなで手作りクリスマス!)	人材バンク	3名
18	平成30年1月～ 平成30年12月 (通年)	世田谷区教育委員会 世田谷区教育活動支援事業	人材バンク	延べ87名
19	平成30年1月～ 平成30年12月 (通年)	深沢地区社会福祉協議会 桜新町子ども食堂	人材バンク	7名
20	平成30年4月～ 平成30年11月	目黒区教育委員会 目黒区立学校自然宿泊体験教室引率指導員	人材バンク	21名

21	平成 30 年 4 月～ 平成 30 年 12 月 (通年)	よこはま教育実践ボランティア	人材バンク	7 名
22	平成 30 年 4 月～ 平成 30 年 12 月 (通年)	世田谷区立千歳中学校 学校生活支援員	人材バンク	1 名
23	平成 30 年 5 月～ 平成 30 年 11 月	世田谷区教育委員会 世田谷区立小学校川場移動教諭補助員	人材バンク	1 名
24	平成 30 年 5 月～ 平成 30 年 12 月 (通年)	目黒区メンタルフレンド (めぐろエミール)	人材バンク	1 名
25	平成 30 年 9 月～ 平成 30 年 12 月 (通年)	東京都板橋区第七小学生 学習支援ボランティア	人材バンク	1 名

表8 体育・スポーツ活動への支援状況(1月～12月)

No.	実施日	依頼先・実施内容	対応学生等	派遣人数
1	平成 30 年 1 月 13 日	車いすバスケットボールの体験授業	野村ゼミ	10 名
2	平成 30 年 1 月 28 日	平成 29 年度中央区子どもの得意スポーツ発見 事業講演会④「ボールを投げるのって楽しい!!」	滝沢 洋平 助教	6 名
3	平成 30 年 2 月 10 日	世田谷区立富士中学校 ダブルダッチ模範演技と講話	ダブルダッチサークル	5 名
4	平成 30 年 2 月 10 日	日野市文化スポーツ課 第 3 回ユニバーサルスポーツ交流イベント	人材バンク	4 名
5	平成 30 年 2 月 18 日	トラストガーデン文京根津 新体操のデモンストレーション(誕生会)	新体操部	2 名
6	平成 30 年 2 月 24 日	ビーチバレーボール体験会兼第1回NSSUビ ーチバレーボール大会	アスレティックデパートメント	27 名
7	平成 30 年 2 月 25 日	世田谷区東玉川小学校4年生 小学生福祉体験見学会 (障がい者スポーツ体験)	野村ゼミ	6 名
8	平成 30 年 3 月 3 日	世田谷区立奥沢小学校4年生 小学生福祉体験見学会 (障がい者スポーツ体験)	野村ゼミ	5 名

9	平成 30 年 3 月 3 日	ファンダフルEnjoy！リレーマラソンin横浜赤レンガ倉庫 feat パンのフェス 大会運営ボランティア	人材バンク	1 名
10	平成 30 年 3 月 7 日	世田谷区立深沢中学校 ダブルダッチに挑戦！！	ダブルダッチサークル	5 名
11	平成 30 年 3 月 22 日	東京都立桜町高等学校定時制課程 車椅子バスケットボール体験	野村ゼミ	2 名
12	平成 30 年 5 月 17 日	世田谷区立深沢保育園(深沢保育園) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	53 名
13	平成 30 年 5 月 26 日	日野ボールゲームフェスタ SOMPOボールゲームフェスタ	人材バンク	6 名
14	平成 30 年 5 月 30 日	世田谷区立深沢保育園(日体大ガレリア) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	43 名
15	平成 30 年 6 月 6 日	世田谷区立深沢保育園(日体大ガレリア) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	43 名
16	平成 30 年 6 月 16 日	世田谷区三島幼稚園 ダブルダッチ演技披露、指導	ダブルダッチサークル	3 名
17	平成 30 年 6 月 17 日	トラストガーデン等々力 チアリーダー部によるダンス鑑賞	チアリーダー部	12 名
18	平成 30 年 6 月 19 日	パブリックビューイング (2018 FIFA ワールドカップロシア コロンビア対日本)	佐野 昌行 スポーツマネジメントゼミ	158 名
19	平成 30 年 6 月 25 日	世田谷区立駒沢保育園 ダブルダッチ演技披露、指導	ダブルダッチサークル	5 名
20	平成 30 年 6 月 30 日	平成 30 年度中央区子どもの得意スポーツ発見 事業講演会①「車いすバスケットボールの体験 と講演」	堀江 航 児童スポーツ教育学研究 学生	7 名
21	平成 30 年 7 月 7 日,14 日	東京都スポーツ文化事業団 「誰もが楽しめるスポーツ体験教室及び 講習会」	野村一路教授	21 名
22	平成 30 年 7 月 8 日	トラストガーデン等々力 ダンス部によるダンス鑑賞	ダンス部	10 名

23	平成 30 年 7 月 21 日	平成 30 年度中央区子どもの得意スポーツ発見 事業講演会②「ボールを投げるのって楽しい!!」	滝沢 洋平 助教 児童スポーツ教育学研究 学生	7 名
24	平成 30 年 8 月 8 日	世田谷区立深沢保育園 運動会に向けてのなわとび	ダブルダッチサークル	4 名
25	平成 30 年 8 月 25 日	世田谷区スポーツ推進部スポーツ推進課 「障害のある人ない人も共に楽しめるスポーツ・ レクリエーション交流事業」	野村 一路 生涯スポーツ学研究 室、研究室学生	8 名
26	平成 30 年 8 月 28 日	相模原市立麻溝こどもセンター 放課後子ども教室「ダブルダッチを楽しもう」	ダブルダッチサークル	5 名
27	平成 30 年 8 月 28 日	世田谷区立下馬保育園 ダブルダッチ演技披露、指導	ダブルダッチサークル	3 名
28	平成 30 年 9 月 9 日	世田谷区スポーツ推進部スポーツ推進課 「障害のある人ない人も共に楽しめるスポーツ・ レクリエーション交流事業」	野村 一路 生涯スポーツ学研究 室、研究室学生	11 名
29	平成 30 年 9 月 10 日、11 日、19 日	品川区立浜川中学校 連合体育大会選抜選手練習	陸上競技部	3 名
30	平成 30 年 9 月 19 日	世田谷区立松原小学校新 BOP ダブルダッチにチャレンジしてみよう!	ダブルダッチサークル	5 名
31	平成 30 年 10 月 1 日	世田谷区立用賀保育園 ダブルダッチ指導	ダブルダッチサークル	5 名
32	平成 30 年 10 月 2 日	世田谷区教育委員会 世田谷区中学校陸上競技大会補助員	陸上競技部	17 名
33	平成 30 年 10 月 8 日	恩田連合自治会 地域住民による健康ウォーキング	スポーツキュアセンター	6 名
34	平成 30 年 10 月 14 日	トップアスリートに学ぼう! ハンドボールクリニック	辻 昇一 ハンドボール部 女子部員	28 名
35	平成 30 年 10 月 17 日	世田谷区立等々力小学校 等々力車いすバスケ	野村 一路 生涯スポーツ学研究室	2 名
36	平成 30 年 10 月 21 日	公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団第 54 回区民スポーツまつり	ヒップホップ同好会 チアリーダー部	24 名

37	平成 30 年 10 月 23 日、24 日	世田谷区教育委員会 世田谷区小学校連合運動会補助員	陸上競技部	延べ 47 名
38	平成 30 年 10 月 28 日	横浜マラソン組織委員会 横浜マラソン 2018 救護スタッフ(BLS 隊)	ライフセービング部 保健医療学部 生涯スポーツ学研究室	250 名
39	平成 30 年 10 月 31 日	奈良小学校放課後キッズクラブ スポーツイベント	女子サッカー部	6 名
40	平成 30 年 11 月 10 日	平成 30 年度中央区子どもの得意スポーツ 発見事業講演会③ 「心と身体がはずむ楽しい体操 TIME」	小柳 将吾助教 体操研究室	1 名
41	平成 30 年 11 月 10 日	横浜市若草台地区センター 若草台地区センター祭りの出演	チアリーダー部	16 名
42	平成 30 年 11 月 10 日、24 日	東京都スポーツ文化事業団 「誰もが楽しめるスポーツ体験教室及び 講習会」	野村一路教授 生涯スポーツ学研究 室、研究室学生	20 名
43	平成 30 年 11 月 21 日	世田谷区立深沢保育園(3B03 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	50 名
44	平成 30 年 11 月 25 日	青葉区民マラソン運営補助	陸上競技部 保健医療学部 他	100 名
45	平成 30 年 12 月 1 日	マルシェぶらり〜と青葉台 2018	ダブルダッチサークル ブラスバンド部	21 名
46	平成 30 年 12 月 2 日	中里北部連合町内会 ふるさとマラソン大会(第 6 回)	サッカー部	60 名
47	平成 30 年 12 月 2 日、15 日	東京都スポーツ文化事業団 「誰もが楽しめるスポーツ体験教室及び 講習会」	野村一路教授 生涯スポーツ学研究 室、研究室学生	18 名
48	平成 30 年 12 月 6 日	世田谷区立深沢保育園(日体大記念講堂) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	52 名
49	平成 30 年 12 月 8 日	平成 30 年度中央区子どもの得意スポーツ 発見事業講演会④ 「フライングディスクを使った親子レクリエーシ ョン〜ドッチビーであそぼう〜」	牛來 明日香 レクリエーション方法 研究室 児童スポーツ教育学研究 学生	3 名
50	平成 30 年 12 月 12 日	世田谷区立深沢保育園(3B03 体育館) 保育園における活動補助	児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース学生	47 名

51	平成 30 年 12 月 15 日、16 日	アルバルク東京 開幕戦ハーフタイムショー 和太鼓、エッサッサ、新体操	和太鼓同好会 深沢寮生 新体操部	64 名
52	平成 30 年 1 月～ 平成 30 年 3 月	平成 29 年度中央区子どもの得意スポーツ発見 事業	児童スポーツ教育学研究 学生	延べ 57 名
53	平成 30 年 1 月～ 平成 30 年 3 月	ティーチングアシスタント事業 「中学部活動等への支援」	人材バンク	1 名
54	平成 30 年 1 月～ 平成 30 年 3 月	健康体力づくり 横浜市立桂小学校	人材バンク	1 名
55	平成 30 年 1 月～ 平成 30 年 12 月 (通年)	世田谷区立小ミニバスケットボールクラブ 「中丸ダンクス」のコーチ	人材バンク	2 名
56	平成 30 年 4 月～ 平成 30 年 12 月 (通年)	大田区立矢口中学校 陸上競技部指導	陸上競技部	1 名
57	平成 30 年 4 月～ 平成 30 年 12 月	平成 30 年度中央区 子どもの得意スポーツ発見事業	児童スポーツ教育学研究 学生	延べ 133 名

表9 施設開放(1月～12月)

No.	実施日	依頼先	内 容	開放施設
1	平成30年2月24日	社会福祉法人世田谷ボランティア協会	災害ボランティアコーディネーター養成講座	世・メインアリーナ
2	平成30年2月25日	奥沢地区社会福祉協議会	小学生福祉体験見学会	世・メインアリーナ
3	平成30年3月 2日、3日、4日	第15回日本教育保健学会	学会	世・記念講堂
4	平成30年3月3日	(公)学校体育研究連合会	学会	世・1301教室
5	平成30年3月3日	奥沢地区社会福祉協議会	小学生福祉体験見学会	世・メインアリーナ
6	平成30年3月 12日、13日、14日	日体幼稚園	卒園式	世・記念講堂
7	平成30年3月 15日、16日	日体柔整専門学校	卒業式	世・記念講堂
8	平成30年3月23日	深沢小学校	卒業生 卒業を祝う会	世・Nレストラン
9	平成30年4月 13日、14日	日体幼稚園	入園式	世・記念講堂
10	平成30年4月15日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
11	平成30年4月20日	玉川消防少年団	少年団入卒団式	世・記念講堂
12	平成30年4月22日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
13	平成30年5月13日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
14	平成30年5月27日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
15	平成30年6月10日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
16	平成30年6月24日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
17	平成30年6月29日	日本体育大学附属高等支援学校	関東保護者会	世・Nラウンジ
18	平成30年6月30日	日本体力医学会	研修会	世・2204教室
19	平成30年7月1日	日本体力医学会	研修会	世・2204教室
20	平成30年7月8日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
21	平成30年7月9日	日本体育大学桜華中学校	水泳授業	世・屋内プール
22	平成30年7月12日	日本体育大学桜華中学校	水泳授業	世・屋内プール
23	平成30年7月15日	関東私立大学教職課程研究協議会	研究会	世・1201教室
24	平成30年7月22日	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	体操競技プログラム	世・体操場
25	平成30年7月 24日、25日、26日	硬式野球部 青葉ベースボールフェスタ	スポーツイベント	健・野球場

25	平成 30 年 7 月 28 日	公益社団法人全国大学体育 連合	第 2 回大学スポーツ局長 全国協議会	世・1201 教室
26	平成 30 年 8 月 20 日～25 日	横浜市青葉区	中学生・高校生の自習利用	健・図書館
27	平成 30 年 9 月 29 日	ニチイキッズ深沢坂上 保育園	運動会	世・5B03 教室
28	平成 30 年 10 月 6 日	グリーンフィールド上野毛 保育園	運動会	世・5B03 教室
29	平成 30 年 10 月 20 日	駒沢どろんこ保育園	運動会	世・5B03 教室
30	平成 30 年 10 月 24 日	世田谷区立桜町小学校 生活科校外学習「町探検」	日体大見学(小学 2 年生)	世田谷 キャンパス内

※ 上記表9の施設開放(無料)以外に、日本体育大学施設の目的外使用規程第6条第2号～第4号に基づき、施設使用料が減免となっている施設貸出しについては、東京・世田谷キャンパスで168件(資料表9-A)、横浜・健志台キャンパスでは110件(資料表9-B)となっている。

表10 地域の美化運動・防災訓練等(1月～12月)

No.	実施日	実施内容及び場所	実施担当者	派遣人数
1	平成 30 年 1 月 20 日	第 5 回クリーン大作戦(平成 29 年度) 世田谷、健志台キャンパス	クラブ・サークル	104 名 (26 団体)
2	平成 30 年 2 月 4 日	等々力の家(老人ホーム) 地域合同総合消防訓練 (平成 29 年度第 2 回)	深沢寮生、 和泉寮生	9 名
3	平成 30 年 4 月 21 日	桜新町親和会 ゴミゼロデー、桜の花びら清掃	深沢寮生、 和泉寮生	20 名
4	平成 30 年 5 月 19 日	第 1 回クリーン大作戦 世田谷、健志台キャンパス	クラブ・サークル	96 名 (23 団体)
5	平成 30 年 6 月 3 日	グリーンヒル鴨志田西団地 環境美化作業	本学教職員、学生	49 名
6	平成 30 年 6 月 10 日	等々力の家(老人ホーム) 地域合同総合消防訓練 (平成 30 年度第 1 回)	深沢寮生、 和泉寮生	10 名
7	平成 30 年 6 月 24 日	深沢地区ゴミ減量・リサイクル 推進委員会 古着・古布回収	深沢寮生、 和泉寮生	7 名
8	平成 30 年 7 月 7 日	大クリーン大作戦、第 1 弾 in 岩井海岸 千葉県南房総市岩井海岸清掃	クラブ・サークル	66 名 (15 団体)

9	平成 30 年 9 月 9 日	グリーンヒル鴨志田西団地 環境美化作業	本学教職員、学生	46 名
10	平成 30 年 10 月 13 日 ～14 日	防災訓練 in 日本体育大学 横浜・健志台キャンパス	スポーツプロモーション・オ フィス 健志台事務室	延 210 名
11	平成 30 年 10 月 20 日	第 3 回クリーン大作戦 世田谷、健志台キャンパス	クラブ・サークル	100 名 (25 団体)
12	平成 30 年 11 月 11 日	等々力の家(老人ホーム) 地域合同総合消防訓練 (平成 30 年度第 2 回)	深沢寮生 和泉寮生	4 名
13	平成 30 年 11 月 17 日	大クリーン大作戦 第 2 弾 二子玉川駅周辺	クラブ・サークル	92 名 (13 団体)
14	平成 30 年 11 月 18 日	深沢地区ゴミ減量・リサイクル 推進委員会 古着・古布回収	深沢寮生、 和泉寮生	10 名
15	平成 30 年 11 月 24 日	桜新町親和会 ゴミゼロデー、桜の花びら清掃	深沢寮生、 和泉寮生	7 名
16	平成 30 年 12 月 1 日	第 4 回クリーン大作戦 世田谷、健志台キャンパス	クラブ・サークル	31 名 (23 団体)
17	平成 30 年 12 月 2 日	グリーンヒル鴨志田西団地 環境美化作業	本学教職員、学生	58 名

【エビデンス集・資料編】

1. 3-(1)-1 平成 30 年度社会貢献事業報告書
2. 3-(1)-2 平成 30 年度研究活動中間報告書
3. 3-(2)-1 公開講座パンフレット・チラシ・講義要項等
4. 3-(2)-2 公開講座実施報告書
5. 3-(3)-1 社会貢献事業派遣受付簿
6. 3-(3)-2 人材バンク学科別登録状況
7. 3-(3)-3 日本体育大学施設の目的外使用規程
8. 3-(3)-4 施設開放(1月～12月)
東京・世田谷キャンパス(表9-A)、横浜・健志台キャンパス(表9-B)
9. 3-(3)-5 幼稚園・保育園における活動補助者事業の実施報告書

【自己評価】

テーマ3は概ね満たしている。公開講座については、同じ講座でも申込数がキャンパスによって偏りがあることから、より地域のニーズや実態に合ったものにしていくとともに質の向上を目指し検討していく必要がある。卒業生、非常勤講師他、学外の専門家が担当している講座も人気の講座ではあるが、大学の教育研究成果等を社会に還元することでの社会貢献推進を目的としていることから、学内からの積極的な参画が求められる。

【改善・向上方策(将来計画)】

研究活動については、地域の課題の抽出とその課題解決に資するように展開することを心がけるとともに、それらの成果に基づいたプログラムの企画・立案を積極的に推進し、全学的に公募した公開講座やスポーツ教室等と連携して実施すべきである。

また、人材バンクへの登録については、説明会後に登録者数が増えていることから、学内での各種行事と組合せて、社会貢献活動についての紹介や説明の機会を増やすなど、周知活動を活発に行っていきたい。

なお、美化運動の全学的な取り組みを推進して、地域社会貢献活動への参画意識の醸成を図ることが重要である。

以上